【横須賀市立鷹取中学校グランドデザイン】

教育基本法
学校教育法
神奈川県教育
「思いやる力」
「たくましく生きる力」
「社会とかかわる力」

『学校教育目標』 勤勉 健全 友愛
 ・知識を生かせる人となれ ・心身ともに健全であれ
 ・礼儀正しく正直な人となれ ・感謝できる人となれ

横須賀の
目指す教育の姿
あなたが好き
私が好き
横須賀が好き
と誇れる人づくり

めざす生徒像
「勤勉」→目標の実現に向けて、全力で取り組む生徒
「健全」→心身ともに健康な状態を築くことのできる生徒
「友愛」→自他ともに認めあい思いやりの持てる生徒

めざす学校像
 ・学ぶ楽しみと学ぶ喜びを見出せる学校
 ・一人一人を大切にできる学校
 ・地域や保護者に信頼される学校
 ・安心・安全で居心地のよい学校

めざす教職員像
 ・学び続ける教職員
 ・生徒に寄り添い、適切な支援をする教職員
 ・チームワークを大切にし、互いに支え合える教職員

重点目標1 自らの目標に向かい、進んで学習し、正しい判断ができる学校

○単元計画に基づいた授業実践 ・学び合い・認め合う集団の育成 ・主体的・対話的な深い学びの実現 ・生徒の姿を通じた授業改善 ○知識・理解の定着 ・ともに学び、深い知の獲得 ・アセスメントに基づいた指導の充実	○ICT 機器の有効活用 ・機器の特性を理解した実践 ・思考力育成を図る活用法の工夫 ○学び合える授業 ・問題解決能力の育成 ・課題に合う学習形態の工夫 ・わからないが保証される教室

重点目標2 心身ともに健康な状態を築くことができる学校

○体力の増進と向上 ・自分の体を知るための実践 ○心身の健康への理解 ・依存への理解	・体育的活動の充実 ・環境美化の徹底 ・誰もが過ごしやすい環境への理解

重点目標3 とともに学び、ともに協力できる学校

○協働的な活動の充実 ・自己有用感を高める活動と支援 ○道徳教育の充実 ・自己理解を図る活動の充実	・日常の学級活動の充実 ・心豊かに人とかかわる心情と態度の育成

重点目標4 安心・安全な学校

○防災意識の向上 ・防災教育の実施 ○信頼される学校 ・人権の尊重	・防災訓練等による自助、共助の醸成 ・学校事故防止会議の充実 ・生徒支援への理解

チーム鷹中

①開かれた教育課程
・家庭(保護者)・地域との連携 | ②外部人材の活用
・小中一貫教育の推進 | ③環境の整備
・業務改善の推進 |
|------------------------------|------------------------|--------------------|

目標達成を支える基盤→子どもが安心して学べる学校

◎支援教育の充実	◎インクルーシブ教育の推進
◎防災教育・安全指導の推進	◎不祥事防止の徹底

1 学校教育目標について

『勤勉 健全 友愛』

- ・知識を生かせる人となれ
- ・心身ともに健全であれ
- ・礼儀正しく正直な人となれ
- ・感謝できる人となれ

2 目指す姿（※グランドデザイン参照）

刻々と変化する社会の中で、情報化・多様化が進み、価値観も大きく変わってきています。これからの生き抜く子どもたちには、より豊かな人間性も求められています。これまでと同様に「生徒に寄り添える教職員」を目指します。また、教員の働き方改革・校務改善を意識するとともに、学習指導要領の趣旨と内容を十分に理解した上での学校経営を行います。

3 重点目標について

(1) 自らの目標に向かい、進んで学習し、正しい判断ができる学校

①単元計画に基づいた授業実践

- ・学び合い・認め合う集団を授業を通して実践する。
- ・なぜ、どうしてから生徒が、主体的に見方・考え方を使い、課題解決して資質・能力を育む。
- ・生徒の変容をとらえた振り返りを通して、授業改善を行う。

②知識・理解の定着

- ・協働的な活動により、確かで深い知の獲得を目指す。
- ・生徒のアセスメントを大切にして、実態に即した指導を充実する。

③ICT 機器の有効活用

- ・ICT 機器の特性を理解した活用を行う。
- ・資料活用や教材を視覚化するなど、思考力の育成につなげる。

④学び合える授業

- ・問題を見出し、生徒同士で解決する学習を行う。
- ・学習形態を工夫するなど、学びを通してコミュニケーション能力を醸成する。
- ・わからない、できない、が保証される親和的な教室を目指す。

(2) 心身ともに健康な状態を築くことができる学校

①体力の増進と向上

- ・自分の体や心を知るための授業実践を行う。
- ・運動や体育的行事を通して、体力の向上を目指す。

②心身の健康への理解

- ・思春期で陥りやすい依存について研修を深める。
- ・健康に過ごせるよう、環境美化や設備点検を徹底する。

- ・特性がある生徒を含め、だれでも安心して過ごせる教室環境となるようにする。

(3) ともに学び、ともに協力できる学校

①協働的な活動の充実

- ・日常生活や生徒会活動、学校行事を通して、自己有用感を育む。
- ・人間関係調整能力が醸成するよう、学級活動の充実を目指す。

②道徳教育の充実

- ・道徳の授業を通して、自己理解や他者理解を醸成する。
- ・学校教育全体で、心豊かに人とかかわる心情と態度の育成を図る。

(4) 安心・安全な学校

①防災意識の向上

- ・避難訓練等と合わせて、防災教育を行う。
- ・中学生としての自助・共助を醸成するようにする。

②信頼される学校

- ・生徒の人権意識を醸成するとともに、教職員自ら人権を意識した言動で生徒に接する。
- ・学校事故による学校の信用が失墜しないよう、事例を踏まえた学校事故防止会議を行う。
- ・支援会議や情報共有を通して、学校全体で生徒支援を行う。

(5) その他

開かれた教育課程（学校公開・PTA活動への協力・アンケート等の実施と活用、HPの更新）

外部人材の活用（生徒の学びに合わせた外部人材の活用）

環境の整備（生徒が安心して過ごせるよう、修繕等の迅速な対応）

家庭・地域との連携（学校運営協議会等で学校教育や方針への理解を促進）

小中一貫教育の推進（定期的な会合の実施、9年間を見通した教育への理解促進）

4 働き方改革について

時間外勤務時間は**月 45 時間、年間 360 時間以内**と規定されている。勤務時間の勤務の割振り・勤務表は印刷機前に掲示する。勤務時間（7時間 45 分）で帰宅することは、突発的な指導に対応する必要もあり難しい状況であることは理解しているが、短時間で終えることのできる会議や時間設定（特に終了時刻）の工夫をする。